

## 2015新年会

2015年新年会は、2月4日松江市東急インにて、第1部新年会、第2部交流会で開催しました。協会会員企業の外、県内IT関連企業、行政機関多数から、講演会には83名、交流会には74名の多数のご出席を頂きました。



浜口JISA会長

第1部講演会は、吉岡協会会長の開会の挨拶で始まり、(一社)情報サービス産業協会会長浜口友一氏に「マイナンバーと韓国のICT活用」と題し、ご講演を頂きました。



吉岡会長

マイナンバー制度は、国民一人ひとりに特定の番号を付与し、行政手続きの合理化と効率化、国民負担の軽減等を目的に平成25年に法律が制定され、この今年の10月までに国民への番号付与がされ、来年1月が施行されることになっていること。日本の制度は、各行政分野で直接その番号が使用されるものではなく、コアシステムと呼ばれるもので各既存システムとの連携を図るものとされているところに特徴があること等。間近になったマイナンバー制度の現状を詳しく説明されました。しかし、社会保障・税・災害対策等での利用が想定されているものの、国・県・市町村を含めた全体像その詳細や制度設計の詳細にまだまだ不明な点があるのが現状であり、国民の情報保護と負担軽減の観点から注意深く見守る必要があると指摘されました。



国連調査による電子政府化ランキングでトップにある韓国ICTについて、マイナンバー制度が徹底され、どこでもいつでも行政書類等の入手が可能となっている現状の紹介がありました。



鈴木中国総通局課長

第2部交流会は、井上副会長の挨拶で始まり、冒頭総務省中国総合通信局情報連携推進課長鈴木照雄氏、続いて、経済産業省中国経済産業局地域経済部長小島暢夫氏から祝辞を頂きました。鈴木課長は、地域のICT活用の観点を含めてマイナンバー制度に取り組ん



鈴木中国総通局課長

でいること、小島部長は、企業応援の立場で、なんでも相談してほしい旨の話がありました。



松江市副市長能海広明氏の「地元紙で報道されて IT 研究開発拠点に関して、市は県に協力・連携して行く」との表明の後、乾杯のご発声により、開宴しました。

また、島根県商工労働部産業振興課長本廣保徳氏に祝辞を頂きました。本廣課長は IT 研究開発拠点に関し、それが正式発表前の報道であることに留意しながら、引き続き、産業振興・IT 産業振興に努めるとの立場を改めて強調されました。



参加者の方々の名刺交換や談笑で和やかに進んだ新年の宴は、吉岡会長、井上副会長、今岡理事が登壇し、今岡理事の指揮による「島根県民の歌」の斉唱と、吉岡会長の力強い一本締めで、めでたくお開きとなりました。

